

安心 × 絆 × 未来

絆の中で、安心して暮らせる未来ある街へ



未来を開く世界ブランド都市・金沢 「国際会議のメッカ金沢」の創出

- 1 旧都ホテルと旧日銀の跡地に、市民の為の多目的ホール兼国際会議場の新設を!
- 2 生産労働人口の県内定着に向けた、台湾大企業誘致の推進。
- 3 小松空港の国際活用と新幹線増便を推進!



絆で支え合う人にやさしい金沢 「家族・子育て・教育」を切れ目なく支える

- 4 婚活から出生祝い金10万円まで、市役所に「婚活課」を総合窓口として新設!
- 5 18歳までの医療費無料化・小中学校を給食費完全無償化。
- 6 徳育・人格教育と相談体制拡充で、いじめや孤立のない教育環境を構築。



安心を守り抜く災害に強いまち 「日常的に備える」防災都市・金沢

- 7 能登復興の後方支援拠点(復興支援センター)として、地震・豪雨・熱中症から命を守る総合対策を断行!
- 8 全避難所のエアコン設置と耐震化。安心できる生活空間を確保。
- 9 自主防災組織への装備拡充と消防団員確保を、市が全力で支援!



とくの英治
後援会事務所

〒920-0345
石川県金沢市藤江北4-395
ABox3セパレーツ106
TEL:076-213-6781
FAX:076-213-6782



WebSite



政治活動をお支えいただく為の
個人献金を募っております。



日々の活動を支えて下さる
ボランティアを募集しています。



とくの英治 後援会報

Official Supporters' Newsletter

討議資料

vol.2

情熱と信念。
世界での経験を
金沢へ!



ご挨拶

日頃よりとくの英治の活動に温かいご理解を賜り、心より感謝申し上げます。
私は「世界ブランド都市・金沢」というビジョンのもと、この街が持つ真のポテンシャルを解き放ちたいと考えています。子育て支援の充実から、最先端企業の誘致、そして命を守る防災対策まで。
今、金沢が直面している課題を直視し、確かな政策で次世代へ活力を繋いでいくことが私の使命です。
一歩先の未来を、皆様と共に描き、形にする。その具体的な実行プランを本号にまとめました。
金沢の新しい歴史を切り拓く決意を、ぜひ最後までご覧いただけますと幸いです。

とくの英治 Profile



座右の銘: 人事をつくして天命を待つ
 性格: チャレンジ精神旺盛
 愛読書: 宮本武蔵
 語学: 日本語、英語、韓国語
 好きなスポーツ: 野球
 好きな国: 日本、韓国、スイス、オーストリア

- 1954年 石川県金沢市生まれ
- 1966年 石川県輪島市門前町立諸岡小学校卒業
- 1969年 石川県輪島市立門前中学校卒業
- 1972年 石川県立金沢二水高校卒業
- 1979年 富山大学経済学部卒業
- 2006年 統一運動における2つの大陸会長を歴任
- 2008年 世界平和統一家庭連合第11代会長に就任
- 2012年 世界平和統一家庭連合第13代会長に就任
- 2024年 故郷・金沢に戻る

現在の主な役職

- 一般社団法人「ときめき輝く金沢」代表理事
- 「健康長寿金沢歩く会」常任顧問
- 政治団体「かなざわ輝きフォーラム」常任顧問

金沢の現状—とくの英治の未来へのビジョン

経済・雇用 生産労働人口の減少と台湾企業誘致の有効性



- 台湾企業誘致の経済効果イメージ
熊本県(TSMC進出例)の経済効果: 10年で約4.3兆円とも試算。
- 台湾企業(半導体・IT関連)1社の進出による効果
雇用創出: 約1,000~2,000人の新規雇用を創出
- 所得への波及
進出企業の平均年収が地場平均より100万~150万円高いことを想定。地域全体の賃金ベースアップの呼び水になります。



徳野ビジョン: 行政の総力を挙げて「若者の所得向上」を実現します。
 若者が金沢で働き、夢を描ける環境を作ります。若者の所得向上は県内定着に繋がります。台湾大企業の誘致と小松空港の国際化をセットで進め、金沢の所得を底上げします。

これまでの歩み 世界での豊富な経験、グローバルな視点を金沢へ!



40カ国での海外活動の経験を活かします!

北米・中南米、オセアニア、アジア、アフリカなど様々な現場を歩き、平和な社会と幸せな家庭の実現を提唱する運動に尽力してきました。



元アメリカ下院議長
ニュート・ギングリッジ氏



アメリカ大統領府信仰局長
ポーラ・ホフワイト氏



アルハジ・アハメッド・カッパハ大統領(シエラレオネ)



ビエール・インクルンジザ大統領(ブルンジ)

現在の活動の一部 街を愛し地域に寄り添い、共に歩む日々の活動



被災地域の視察とボランティア活動



「健康長寿金沢歩く会」の開催



片町での夢拾い(ゴミ拾い)

子育て・教育 医療費・給食費の金沢市と近隣の市

子ども医療費(通院)	金沢市	野々市市・白山市・内灘町など
	15歳(中学校卒業)まで無料	18歳(高校卒業)まで無料
小中学校給食費(年間負担額)	金沢市	加賀市・小松市・輪島市・川北町など
	小学生 約5.5万円 / 中学生 約6.3万円※世帯平均	完全無償化実施済み

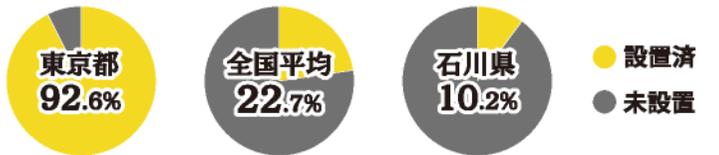


徳野ビジョン: 金沢市の給食費完全無償化 / 医療費18歳まで無料化
 教育と医療への投資は、金沢の未来への投資です。所得制限なしの『医療費18歳まで無料化』『給食費完全無償化』で、子育て世帯の不安を解消します。

防災・安全 避難所(体育館)の冷暖房設置の遅れ

- 全国平均で約22%前後、金沢市も順次導入中だが全避難所には至っていない

● 全国の避難所(公立学校)エアコン設置状況
出典: 文部科学省「公立学校の体育館等の空調設備設置状況(令和7年5月)」より



徳野ビジョン: 「金沢市の全避難所への100%設置」を断行。
 能登の教訓を風化させません。熱中症や寒さから命を守るため、全ての避難所にエアコンと耐震対策を。消防団への支援も市が全力で行います。

裏面の9つの政策もぜひご覧ください!